

総額 13億291万7,000円

# 昭和45年度の市予算決る

生活環境の複雑・多元化に対応し

## 住民に密着した業務に重点

昭和四十五年度の市の予算が決まりました。新しい予算は、①民生福祉の増進、②観光資源の再開発、③青少年の健全育成、④文教施設の充実の四つの柱を重点施策とし、経済の高度成長などにより複雑、多元化した生活環境に対応して、住民と直結した地方自治体の業務を推進するための、建設的な予算が編成され、一般特別両会計をあわせて一三億二九一七、〇〇〇円となりました。

市民一人当たり  
四万四千元に

昭和四十五年度予算は、一般会計九億三、二四一、〇〇〇円をはじめ、国民健康保険費、上水道事業費など、六つの特別会計をあわせて、総額一三億二九一七、〇〇〇円となりました。

この額は、前年度の当初予算総額一億二、五九〇万二、〇〇〇円に比べ、一五・七％の増であり、市民一人あたりに換算すると、約四万四、〇〇〇円になります。

予算の内容は、歳入面では自主財源である市税などの一般財源に、予算総額の六三・二％にあたる八億二、四〇八万五、〇〇〇円が見込まれ、健全財政が維持されており、歳出面では、人件費、物件費の伸びを極力抑え、市道舗装や市営住宅建設な

どの投資的経費に、三億三、〇五三万九、〇〇〇円（構成比二五・四％）が振り向けられた建設的な予算です。

### 近代的都市づくり

### 市道整備・都市計画を推進

自動車の保有台数が年々急増している現在、幹線国道整備とあわせて、市道の整備も市民の強い要望となっています。

六、〇〇〇万円が投入されることになりました。事業の主なもの、一般会計では市道五〇〇号線（所野瀬尾線）、同一四二号線（清滝小下道）、同九〇号線（久次良公民館）など八路線、七・六キロメートルの舗装事業に一、九六六万円が計上されたのははじめ市道二二四号線（和泉松本道路）、同五九九号線（森崎滝ヶ原線）など四路線の改良工事に六八九万円、市道一一九号線（日中通学路）など九路線の補修工事に五一八万円が計上されたほか、都市計画事業の一環として、駅前地区面整理事業第一



## 昭和45年度一般会計予算科目別構成

